



友だち、たくさんできたかな。
隈府小学校1年生

きくち

題字/旭志小学校 6年 水上 樹奈 さん

議会だより

3月定例会 Contents

第1回定例会審議結果	2
牛乳消費拡大に関する決議	3
委員会報告	4~10
14人が市政を問う!	11~17
議会と各種団体との意見交換会	18~19

この定例会では、令和5年度菊池市一般会計予算をはじめ、補正予算、条例の制定など25議案が提案されたほか、議員提出議案1件、議決案3件、議事1件、意見書案1件、決議案1件、報告1件があり慎重に審議しました。

審議の結果、原案のとおり可決しました。

開催日：2月17日（金）～3月17日（金）

主なものは以下のとおりです。

令和5年第1回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議案名	結果
議案第4号	菊池市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について (P4に総務文教常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議案第17号	令和5年度菊池市一般会計予算 (P7～10に予算決算常任委員会・分科会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議案第18号	令和5年度菊池市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第19号	令和5年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和5年度菊池市介護保険事業特別会計予算	原案可決

賛否表

○は賛成 ●は反対 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議案	結果	議席番号 表決数 賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			本藤 潔	安武 睦夫	稲継 智康	古田 浩敏	島山 春代	大山 宝治	田中 教之	福島 英徳	緒方 哲郎	後藤 英夫	平直 樹	東奈 津子	水上 隆光	猿渡 美智子	荒木 崇之	工藤 圭一郎	二ノ文 伸元	泉田 栄一郎	木下 雄二	山瀬 義也
			賛成	反対																		
議案第4号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○
議案第17号	可決	13 対 6	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

牛乳消費拡大に関する決議

(概略)

新型コロナウイルス感染症や、ウクライナ情勢等により、悪化している経済状況の中、本市の酪農業の経営は危機的状況にある。

市には、経済団体等と協力し、市民等への啓発活動に努め、イベント等において牛乳や乳製品を配布する等、牛乳の消費拡大のための対策を講じること等が求められている。

県内では「もう一杯の牛乳を」キャンペーンが実施され、牛乳の消費拡大を応援することで酪農業を下支えし、農地保全につなげていくといった取り組みが始まっている。



よって、菊池市議会は、議員自ら市民に対して、牛乳の消費拡大を呼びかけ、関係機関団体との連携を強化し、行政をはじめ市民と一体となって、牛乳の消費拡大に取り組んでいくことを決議する。

国に意見書を提出

食料安全保障の強化に向けた基本政策の確立に関する意見書 (概略)

我が国は、食料やその生産に必要な資材の多くを海外からの輸入に依存しているため、世界情勢の変化の影響を受けやすく、ロシアによるウクライナ侵略などによって、多くの食料品や農林水産業における燃油・肥料・飼料等の生産資材の価格が高騰している。

さらに、農林水産業では、この生産コスト上昇分を販売価格へ転嫁することが難しく、農林漁業者の経営継続が危ぶまれる状況にあり、食料安全保障上のリスクが高まりつつある。

今後不安定な世界情勢の長期化や、地球温暖化の進行による食料生産への影響など、食料安全保障に対する懸念は長期にわたる恐れがある。

よって、国におかれては、我が国の農林水産業が今後とも持続的に発展し、食料安全保障の強化が図られるよう、次の事項を実現されるよう強く要望する。

1 将来にわたり国産食料を安定的に生産・供給していくために、食料安全保障強化の観点から食料・農業・農村基本法を見直すなど、新たな農林水産業基本政策の確立とその実現に向けた十分な予算を確保すること。

2 農林水産業が果たす役割について、国民の理解醸成を図るとともに、我が国の実情に合った適正な農林水産物の価格形成の仕組みを構築すること。

3 燃油・肥料・飼料など輸入依存の高い生産資材の安定供給のための施策の強化を図ること。特に、農林漁業用A重油の石油炭税の免税・還付については恒久的措置を講じること。

4 持続的な発展に向けて、農林漁業者が行う環境負荷低減の取組に対する支援を強化すること。



出典：農林水産省HP
食料安全保障とは

総務文教常任委員会

委員長／後藤 英夫 副委員長／東 奈津子 委員／安武 睦夫 稲継 智康 島 春代 荒木 崇之 山瀬 義也

定例会・臨時会

決議・意見書

委員会・分科会

一般質問

意見交換会

【議案第4号】 菊池市行政手続等における情報通信の 技術の利用に関する条例の一部を 改正する条例の制定について

内容 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、条例改正を行うもの。

質問 情報通信技術の活用によって、行政の簡素化や利便性が向上する点ではよいと思うが、簡素化を口実に窓口での相談業務等が、今後、廃止や縮小されることはないか。

答弁 縮小する業務等はない。

質問 紙による手続きが後退して、デジタルによる手続きを利用したくてもできない人への対策はどうするのか。

答弁 行政手続等をデジタルで行えるようにするが、紙での申請等を廃止するものではない。今後モ紙の手続きと併せて、デジタル化を推進していく。

質問 デジタル化推進によって、簡単に業務ができるようになる、職員の質の低下が心配される。デジタルばかりに頼ることなく、アナログを知った上でのデジタル推進をするよう、しっかり研修会もしてほしい。

答弁 各業務では、それぞれ専門知識が必要と考えるので、各課において研修が必要と考える。

福祉厚生常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／泉田 栄一郎 委員／大山 宝治 平 直樹 工藤 圭一郎 木下 雄二

【議案第10号】 菊池市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する 基準を定める条例、並びに菊池市放課後児童健全 育成事業の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例の制定について

内容 関係法令、並びに民法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

質問 安全計画を策定することが必要になり、事業者は大変になると思うが、

安全計画は市が確認するか。

答弁 策定された計画は、市に提出していただき、年1回の指導監査で、実施されているのか確認したい。

【議案第26号】 菊池市国民健康保険条例の一部を 改正する条例の制定について

内容 健康保険法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正する必要がある。条例改正を行うものがある。

答弁 今回の改正は、全国的な基準で出産育児一時金の算定が行われている。

現状の出産育児一時金では、負担が生じてしまう地域があることから、今回の改正となっている。

質問 8万円、上がることになるが、積算基準があつてこの額になっているのか。

経済建設常任委員会報告

委員長／田中 教之 副委員長／猿渡 美智子 委員／本藤 潔 古田 浩敏 福島 英徳 二ノ文 伸元

可決

【議案第24号】
熊本市、山鹿市、合志市及び大津町との国営造成施設
管理体制整備促進事業(管理体制整備型)に関する
事務の事務委託に関する規約の一部変更について

内容 国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱の改正等に伴い、普通地方公共団体の事務の委託に関する規約を変更するにあたり、地方自治法の規定により、議会の議決を経る必要があるもの。

(現在、国営による菊池台地水利施設の管理経費に対する国庫補助事業の事務は、関係5市町の事務の簡素化を図るため、関係4市町との事務委託の規約により、本市が事務を受託しているが、令和5年度から国が制度を変更するため、4市町との規約の一部を変更する必要が生じた)

質問 国営造成施設とは、竜門ダム関連施設と思

うが、どの部分を指すのか。

答弁 竜門ダムから引かれているパイプラインの本管部分と、その本管の送水进行操作するための設備となる。



国営造成施設のひとつ
「豊洞橋」

特別委員会報告

令和5年第1回(3月)定例会において、新たな特別委員会の設置が決まりました。

可決

【議事第1号】
議会改革検討特別委員会の設置について

【設置の目的】

地方分権が進展するなか、二元代表制のもと地方議会の果たす役割は重要性が増しており、議会活動の充実・強化を図るとともに、情報の公開、透明性の向上を図ることが一層求められている。

菊池市議会は、より一層、市民の負託に応えるため、また市民生活の向上と民主政治の発展に寄与するために、特別委員会を設置する。

【設置の根拠】

地方自治法第109条、及び菊池市議会委員会条例第6条

【委員の定数】

10名

【調査期間】

設置の日から検討終了まで

【経費】

予算の範囲内

【今回の審査内容】

新たに設置された委員会であるため、正副委員長の互選を行い、議会へ報告しました。

【正副委員長及び委員】

委員長	東奈津子
副委員長	山瀬義也
委員	本藤 潔
〃	安武 睦夫
〃	古田 浩敏
〃	大山 宝治
〃	猿渡 美智子
〃	荒木 崇之
〃	工藤 圭一郎
〃	木下 雄二

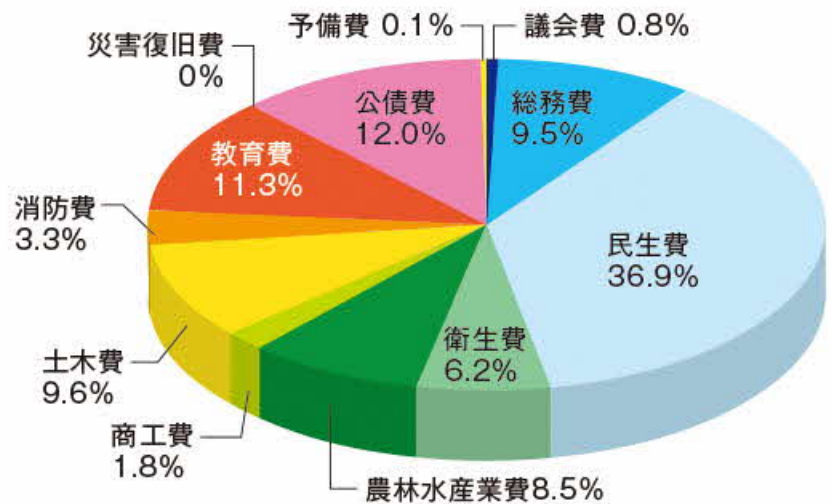
令和5年度当初予算 可決

一般会計 273億6,600万円 (対前年比2.1%増)

特別会計 134億2,141万8千円 (対前年比0.9%減)

企業会計 45億1,421万3千円 (対前年比6.7%増)

■ 目的別歳出予算割合



■ 一般会計

単位:千円

目的別歳出費目	予算額
議会費	203,484
総務費	2,605,594
民生費	10,089,162
衛生費	1,704,036
農林水産業費	2,329,472
商工費	476,710
土木費	2,630,130
消防費	898,982
教育費	3,099,892
災害復旧費	10,500
公債費	3,288,038
予備費	30,000
歳出合計	27,366,000

■ 特別会計

単位:千円

会計名	予算額
国民健康保険事業会計	6,709,212
後期高齢者医療事業会計	738,540
介護保険事業会計	5,973,666
合計	13,421,418

■ 企業会計

単位:千円

会計名	予算額
水道事業会計	1,194,006
下水道事業会計	3,320,207
合計	4,514,213



予算決算常任委員会報告

委員長／二ノ文 伸元 副委員長／福島 英徳

分科会長／(総務文教)後藤 英夫 (福祉厚生)緒方 哲郎 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名

【議案第11号】
**令和4年度
一般会計補正予算**

戸籍住民基本台帳経費

△396万3千円

内容 コンビニ交付の増加により、手数料10万5千円を増額するもの。

質問 コンビニ交付が増加し、手数料が増額になったとのことだが、その理由は。

答弁 マイナンバーカードの普及が考えられる。コンビニ交付件数は、(R2)1802件、(R3)3795件、(R4・1月末)4683件と増加している。

定住化促進事業

△1813万6千円

内容 大琳寺4号線の道路改良工事において、用地協議に不測の期間を要したため、

本年度の工事請負費等を減額するもの。

質問 現状の大琳寺4号線は、どうい道路路か。

答弁 かなり道路幅が狭く、一番狭いところで2メートルしかないことから、地元より拡幅の要望があつていた道路であり、市としても定住化を促進していきたいことから、整備を進めているものである。



経済建設分科会 現地調査:大琳寺4号線

【議案第17号】
**令和5年度
一般会計予算**

子育て世帯移住支援事業

1620万円

内容 TSMCの熊本進出が決定し、今後、県北への転入世帯の流入が加速すると予測されることから「子育て世帯移住支援金」を創設することにより、本市への転入を促進するもの。

質問 補助対象は、地域限定にしないと便利のいいところだけに使われる補助金にしないか。

答弁 旭志地区の過疎債もあるので、ある程度地域限定を謳っていないかという意味がなくなると思うが、どう考えるのか。

質問 今回の制度は、TSMCの影響による人口の流入を期待するもので、TSMCに近い旭志や泗水への人口増が期待できると考えている。

泗水地区では、さらなる人口増の呼び水として、また、中山間地域では、人口減少の歯止めを少しでもかけていくということでも地域指定は行っていない。

意見 市としてどこに住宅地を持つていくのか明確にしていかないと、市の施策が見えない。もっと精査してほしい。

小学校増築事業

7536万8千円

内容 菊之池小学校の増築工事に伴う監理業務委託料・工事請負費・エレベーター設置工事設計業務委託料、及び泗水小学校増築工事に伴う設計業務委託料等を増額するもの。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

定例会・臨時会

決議・意見書

委員会・分科会

一般質問

意見交換会



増築される菊之池小学校

質問 菊之池小学校は、これまで何回も増設工事を行ってきたかと思うが、今後の見込みとして、菊之池小学校区も人口が増えてきており、収容能力的にどうかと思うところもある。

来年度の学級編制の見込みはどうなっているのか。

答 弁 入学等を含めた人口推移を確認しながら進めており、令和6年度に1クラスの不足が予想されるため、今回、増築するものである。

防災行政無線等整備事業

9007万5千円

内容 戸別防災行政無線機の配備のため、令和4年度から事業実施を予定していたが、落札業者の廃業により契約に至らず、事業開始を1年延長するもの。

質問 防災行政無線の整備は、今年度で済みに新年度で計上してあるが、契約時期と利用開始はどれくらいになるのか。

答 弁 令和5年度と令和6年度の各単年度事業で実施し、令和5年度は親局や深谷中継局等の改修を主な工事とし、令和6年度で再送信子局装置の改修、また戸別受信機導入や設置工事の予定である。

令和5年度の契約時期は秋頃になり、戸別受信機の配付時期は設置工事等も必要になるので、令和6年度に要望を取り、設置していきたい。

健康づくり推進事業

1072万7千円

内容 市民の健康づくり事業に係るもの。主なものは運動の普及啓発を図るための健康づくり運動教室など。

質問 健康ポイント事業は、本市独自で行っていたものを、負担金を払って熊本連携中枢都市圏で取り組むことにするメリットは何か。

答 弁 本市単独の健康ポイント事業は、紙に記録をして応募する方法だったが、連携中枢都市圏の事業として、熊本市が開発したアプリを使えるようになった。

これは、市独自でアプリを開発するより、コストを抑えられるメリットがある。

アプリを使うと、手軽にポイントを貯めることができ、若年層にも広めることができる。

また、参加している16市町それぞれの特産品や、協賛企業が

ら提供されている品物が景品となっている。

紙でも参加できるので、高齢者の方等でアプリを使うことができない方でも参加は可能である。



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

地下水対策事業

422万5千円

内容 地下水の硝酸性窒素濃度が水質基準を超過している地域があることから、熊本大学との共同研究による中長期的な水質調査・分析等を行う等、安全な飲用水の確保や地下水の保全を図るもの。

質問 七城地区の水質検査は、年に何回行っているのか。

答 弁 全行政区38か所で検査を行っているのは年1回である。熊大の調査は、定点観測で最短で2週間に1度検査を行っている。

鳥獣捕獲事業

1657万7千円

内容 令和5年度からの2年間をイノシシ・ニホンジカの捕獲重点期間と位置付け、報奨金を増額し、鳥獣捕獲DX事業に

取り組む等、有害鳥獣捕獲の強化を図るもの。



ニホンジカ(水源地内)

質問 デジタル田園都市国家構想交付金をいただくというところで、DX導入事業の説明では、長距離無線式捕獲通知機器の子機が115基、親機が2基とのことだったが、親機の2基の管理は、どんなイメージなのか。

答 弁 全親機1基に対して子機を1000基くらい管理できると聞いている。

本市の地形は、山間部が広いので、親機の2基で子機115

基を管理したいと考えている。わなが作動すると子機は無線により親機へ通報し、親機はその情報を電話回線の4Gを使って、クラウド上のシステムに送信し、システムが自動的にデータを一元管理することで、ネット上でわなの捕獲情報を直接見ることが出来る。



イノシシ(龍門地内)

また、リアルタイムで、115基の子機のどこのわなが作動したのか、事前に設定されたわなの設置者にメールで通知される。

蓄積された捕獲情報をシステム上で管理しながら、わなの配置を最適化していく。

子育て世帯移住支援事業

1620万円

定住化促進事業

3651万3千円

民間宅地開発支援事業

3619万6千円

議員質問 定住化促進事業により大琳寺4号線を整備し、民間宅地開発支援事業により民間が宅地開発に取り組み、子育て世帯移住支援事業により補助金を出すことで、子育て世帯の移住を促進すると繋がっていくので、今回の大琳寺4号線の道路整備が、現実に子育て世帯の移住にまで繋がっていくように、これから、是非、取り組んでいっていただきたい。

議員質問 人が住みたい場所は、学校やスーパーが近くにある等、まず、皆さんが利便性を考えられる。民間宅地開発支援事業は、もっと俯瞰した形で、具体的に、作業部会の中できちんと話し合っていたっていただきたい。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

エコヴィレッジ旭管理経費 についで (福祉厚生分科会)

議員間討議 解体することに反対ではなく、跡地利用について、地元地区の方との協議の結果、災害ごみ仮置き場、管理棟は文化財収蔵庫として利用すると決まっていることを否定するわけではない。

地元地区との覚書に基づき、跡地利用の活用方法が決定されていることは十分理解した上で、TSMC等の進出に伴い、今後の企業進出や住宅開発等の話があった場合は、地元地区と協議を行い、同意が得られれば、柔軟に対応できるように体制を取ってほしい。跡地利用に柔軟性をもっていたらきたいということを分科会として提言したい。

議員間討議 地元住民の方が決定されたことを、再度協議できるのか。

議員間討議

解体後の使用目的

が決まっている状況で、変更が可能か確認した上で、提案しなければならぬのではないかと。

議員間討議 あくまでも、仮定の話なので、そういう話が来て、地元住民の方の同意が得られたら進めるということは大前提である。

※議員間討議では、この他にも意見等が出されましたが、紙面の都合により、抜粋して掲載しています。

福祉厚生分科会としての提言

今後、エコヴィレッジ旭の跡地について、企業進出や住宅開発等の話があった場合に、再度地元住民の方と協議する機会を持つて、地元住民の方から同意が得られた場合は、前向きに考えるような柔軟性を持っていたらきたい。

議会を インターネットで！

傍聴においていただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会議中継をクリックしていただく与会議録画映像を見ることが出来ます。使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局

TEL 25-2325



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像

議長交際費を 公表します

令和5年2～4月分は、左記のとおりです。

会費（公的性格を有する団体との協議会費および負担金）
2件 15000円

その他（他自治体への研修、および議長会等経費）
0件 0円

合計

2件 15000円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めています。



Q 菊池米食味コンクールを祭りのイベントにできないか。

A 他のイベントとの同時開催等の検討も進めていきたい。

泉田 栄一郎 議員



菊池米食味コンクール

A コロナ禍での状況もかなり落ち着いてきたので、このコンクールを通じて、菊池の農産物全体のPRにもつながるよう、生産者やJA等、関係者団体の御意見を伺いながら、他のイベントとの同時開催等の検討も進めていきたい。

Q 10回目を迎えた菊池米食味コンクールは、生産者の技術の向上につながっている。
A 生産関係者に留まらず市民が参加できる(仮称)菊池米まつりのイベントに発展させる考えはあるか。

ろう者への対応について

Q 聴覚障がい者のために手話ができる職員を配置しているか。
A また、災害時等いざというときの情報伝達の対策はあるのか。

A 本人から同意を得ている避難行動要支援者名簿を消防団や区長、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の避難時の支援者に提供しており、情報を共有し、いざというときに対応できる対策を取っている。また、聴覚等に障がいがある方に対し、災害時の情報伝達手段として、防災タブレット52台を配付している。

その他の質問

- ・マイナンバーカードの取得率と今後の推進方法について

Q 住宅・企業の誘致促進に関する本市の考えは。

A 将来を見据えた新たな開発に対するゾーニングを設定したい。

後藤 英夫 議員



Q 森林経営管理法・森林環境譲与税という制度を踏まえ、森林整備に関する本市の考えや課題は。

森林整備と鳥獣被害(対策)について

Q ゾーニング等の判断により、先行して埋蔵文化財の確認調査を行う考えは。
A 市の方針でゾーニングを行い、その方針を市民等に示すことは、企業誘致等の呼び水として有効であり、包蔵地等に該当する場合は、試掘・確認調査業務に取り組んでいきたい。

A 森林が持つ公益的機能の維持管理には、適切な森林整備が必要であり、課題解決のため、現行の各種事業に加えて、森林環境譲与税を活用した新たな各種事業を創設していきたい。
Q 循環型社会実現を目指すため捕獲した鳥獣を乾燥して肥料などにする「減容化施設」を造る考えは。

A 県内の他市町の施設からは、電気料の高騰など運営費の課題等も聞いており、まずは、先進地の事例などを調査して研究したいと考えている。

その他の質問

- ・公営霊園について

定例会・臨時会
決議・意見書
委員会・分科会
一般質問
意見交換会

Q 社会体育スポーツクラブへの市の支援内容は。

A 体育施設使用料の減免、全国大会等出場報奨金等がある。



稲継 智康 議員



Q 部活が無くなり、スポーツする子どものほとんどは、社会体育クラブに加入し活動しているが、各チームが抱える問題・意見をなかなか伝えていけない現状である。本市としての社会体育クラブの現状と課題を踏まえた今後についての認識は。

A 今後、小中学生がスポーツに親しみ、安心して活動できる場をいかに提供でき

るか、各クラブチームや、総合型スポーツクラブとの話し合いの場を設ける等、連携していきたい。

菊池市内の企業・店舗等の人手不足問題について

Q 本市のあらゆる業種の経営者が人手不足を叫んでいるが、解決策としての今後の考えは。

A 県の就労相談機関ジョブカフェの就職無料相談窓口を開設している。

また、市内高校、三つの高校の生徒による会員企業の「工場見学」を実施しており、高校生の地元就職に対する意識付けを図っている。

今後、企業PR及びマッチングの機会を設けていきたい。

Q 市が管理するAEDに運用マニュアルはあるか。

A 運用規則等の定めは無いが、操作研修等を受けている。



田中 教之 議員



Q AEDを設置している民間事業者と一緒に、財団AEDマップに設置場所の登録や更新を行う予定はあるか。

A 民間との共同での講習会の実施等は、ご提案を参考にさせていただきます。

また、ホームページ等の表示は、設置施設の一覧表や、また、操作方法等の動画等のリンク集を貼る等の検討を行います。

デジタル化推進について

Q デジタル化の利便性をより感じ、地域課題解決の実現のために、職員と地元IT事業者とワークショップを定期的開催してはどうか。

A 来年度、「菊池デジタル推進コーディネーター」を地域おこし協力隊として任用し、デジタル技術を活用して、地域課題の解決に取り組むこととしている。この活動の中で、地元事業者とのワークショップの開催等、必要に応じて検討していきたい。



Q あいのりタクシーをより良く利用するための取り組みは。

A 広報やチラシの配布、運行エリアの見直し等を行っている。

島 春代 議員



市街地の店舗での迎車:あいのりタクシー

Q 現在のあいのりタクシーの利用状況は。

A 利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も受け減少傾向にあり、市補助金も利用者の減少に伴い減少している。

Q 観光地菊池市としてサービスと活性化のためにも、観光あいのりタクシーの利用運行を、土日祝日に限らず平日も利用できるように補助できないか。

A 観光客の入込動向やニーズ等を踏まえ、タクシー事業者の意見等も伺いながら、調査・研究を進めたい。

産前・産後の子育て支援について

Q 産前産後の相談支援は重要であるが、中でも家事支援が必要な家庭への対策をどのように進めていくのか。

A 国は、令和6年度以降、子育て世帯訪問支援事業として、養育支援訪問事業では支援できない、食事の準備や洗濯、掃除、買物の代行等の家事支援と保育所等の送迎等の提供を行う育児支援を開始することであり、国の実施要綱等の発出状況を注視しながら、産後の子育て支援の体制整備に取り組みたい。



Q 止まらぬ人口減少、10年間、何をしたの。

A 地道な政策を様々なところで積み上げてきた。

荒木 崇之 議員

Q 江頭市政になって10年間で人口が4000人減り、近隣の合志市は7200人、大津町が3400人、菊陽町が5600人増加している。特に本市は、毎年の転出が転入を200人も上回っている。この10年間、人口増加施策は何をしたか。

A 人口増を狙い必死にセールスをかけ、工業団地の空きを全て埋めた。

また、特に子育て世代を呼び込むため、様々な教育や子育て環境の充実に努めた。

結果、本市は全国の中(3万~5万人規模)では、住みたい田舎ランキング(全国)で上位に入り、県内では1番、九州の中でも人気の都市に評価が上がっている。

Q 人口が増加する泗水富の原地区に隣接し住宅化が見込める花房地区に公共下水道の整備、商業地として見込まれる旭志の国道325号沿いに下水道を整備する考えはあるか。

A 旭志及び花房地域は、現状、合併浄化槽のような個別処理が有利となるが、今後、大きな人口増加が見込まれる状況になれば、そこで判断したい。



その他の質問

- ・情報公開請求について

定例会・臨時会

決議・意見書

委員会・分科会

一般質問

意見交換会

Q 住みたい田舎ベストランキングを活かした施策は。

A ウェブサイトやイベント等を通じて本市をPRしている。



本藤 潔 議員



その他の質問

・子ども子育て施策について

Q 菊池市への移住希望者は多いが、「空き家バンク」への登録が無いと聞いている。有効な施策である「空き家バンク」の周知を今後、どう進めるのか。

A 広報への掲載や区長文書の配布、固定資産税の納税通知書にチラシを同封して空き家所有者に送付するほか、生涯学習まちづくり出前講座の一環で説明会を開催しており、今年度は花房校区と旭志地域の2か所で実施している。

交流人口の拡充について

開催し、空き家バンクの物件登録数の増加に努めていきたい。

Q TSMC進出に際して、歴史上の接点がある台湾宜蘭市との関係交流を進めていく考えはないか。

A 西郷隆盛さんのご子息、西郷菊次郎さんが台湾では大変な人気であり、菊次郎さんを通じた歴史的なつながりのある龍郷町と本市はつながっており、歴史のつながりで観光交流都市といった垣根の低い交流のやり方を進めていきたい。

Q 新年度も同じ業者と同様の契約を行うのか。

A 引き続き、七城コスモスまつり実行委員会への委託を計画している。



福島 英徳 議員



菊池川右岸

Q 河川管理に関して全く実績のない業者と事前協議を行い、市からの予定額と同額で随意契約ができるのであれば、菊池市には入札制度は必要ないと考えるが、部長の考えは。

A 七城コスモスまつり実行委員会は、菊池市商工会七城支部、七城区長会、商工会七城支部青年部で構成される団体であり、七城地区の河川を熟知していること、またコスモスまつりに併せて、河川の除草・コスモスの植栽・管理を行うことが効率的であること

七城地区の地下水対策について

とから、業務遂行能力、組織力、地元への熱意等を総合的に判断し、委託が可能と判断し、指名審査会に諮って、指名していたらいい。

Q もっと行政区ごとの意見を聞き、七城地区に上水道の早期設置を求めるが、考えを述べよ。

A 上水道に係る意向調査の結果も踏まえ、七城地区の市営水道整備を行うか否か、考えているところである。

Q 通学路を伴う主要道路の防犯灯を市に移管する考えは。

A 市管理の照明に移管する考えはない。



安武 睦夫 議員

通学路を照らす防犯灯



Q 来年度の国予算において、高騰する公共施設の電気料金について普通交付税措置してあるが、自治区負担となる防犯灯の電気料金を時限立法的にでも負担する考えは。

A 電気代の今後の高騰状況や近隣自治体の取組状況を注視しながら、検討していきたい。

地球温暖化対策計画について

Q 小水力発電を普及させるためには、補助制度や融資制度の紹介、開発の許可事務を支援する部署が必要だと考えるが、先進地同様に「小水力発電開発支援室」を設置する考えは。

A 小水力発電に関する専門的知見の集積等を要するため、現時点では難しい状況であると考えている。なお、今後の動向等を注視しながら、適宜対応していきたい。

Q 「危機的」とも言われる酪農だが、市内での廃業の数は。

A 直近3年で11件が廃業され、今後も増加が懸念される。



猿渡 美智子 議員

Q 菊池地域の酪農経営の現状は。

A 新型コロナウイルスの感染拡大やロシアのウクライナ侵攻等により、飼料・燃油・肥料・資材等の価格高騰が続いており、電気料の値上がりもさらに経営の圧迫につながっている。

また、初生雄牛価格も低迷し、売買が成立しないケースも多くあり、乳価も生産コストの増加分には足りない状況にある。

Q 酪農家の廃業が地域に及ぼす影響は。

A 耕作放棄地が増加し、新たな災害や鳥



獣被害等の発生が懸念される。さらに他の酪農家の意欲減退、後継者の新規就農の減少も懸念される。

Q 酪農家への支援には牛乳の消費拡大の取り組みが必要だ。

子育て世帯への支援をかねて、春休みや夏休みに小中学生へロングライフ牛乳の引換券を配布する考えはないか。

A 配達方法等の課題がある。また、実際に一番困りなのは牛乳の部分であり、関係機関とも相談しながら調査研究していきたい。

その他の質問

・子育て支援について

定例会・臨時会
決議・意見書
委員会・分科会
一般質問
意見交換会



東 奈津子 議員

Q 不登校児童生徒の自立に関する相談や情報提供の在り方は。

A 不登校児童生徒の自立には保護者との連携が欠かせない。



Q フリースクールや民間施設の果たす社会的役割は今日、増している。市としても財政支援等公的な支援を検討していくべきと考えるがどうか。

A 教育委員会が運営している無償の適応指導教室を勧めている。
また、適応教室以外の民間施設に係る費用面は、今のところ、国からの財源確保につながる指針は

示されておらず、費用面の支援を行うことは難しい状況だが、引き続き国の動向を注視していきたい。

自衛隊への個人情報提供について

Q 菊池市でも直近2年間で毎年、1000人を超える若者の名簿が提供されている。本市でも、本人や保護者が申請すれば対象者名簿から削除することが出来る「除外申請制度」を設け、周知徹底すべきと考えるがどうか。

A 現在、県内の自治体において、除外申請精度を設けていないのは、熊本市以外が、個人情報提供を望まない市民の方々に対する配慮は、必要であると考

Q 農家の人手不足に対する認識は。

A 短期でも働き手が見つからず、人手不足が進行している。



緒方 哲郎 議員



Q 農家の人手不足に対する対応はどのようなことを行っているのか。

A 市独自の新規農業就業奨励金や、国の農業次世代人材投資資金を活用し、新規就農者の確保に努めている。

また、スマート農業技術の導入は、農業の効率化、省力化が図られ、人手不足の解消に大きく貢献すると考え、国県の補助事業の活用を推進している。

さらに、農地や農道、水路の草刈り等の維持管理活動を補うため、中山間地域等直接支払事業や多

面的機能支払事業により、農業者以外の方を含めた集落等の共同活動に対し、交付金による支援を行っている。

農地転用について

Q 農地転用の件数の推移は。
また、隣接農地の地権者とのトラブル予防対策についての考えは。

A 農地転用の許可件数は、年々増加している。

また、農業委員等による現地調査等において、隣接農地の営農条件に支障を来すようなおそれがある場合は、必要に応じて事業者から隣接同意書を徴することが可能であり、トラブル予防になると考

Q 菊池温泉街の現在の状況は。

A 多少の回復はあるものの、外出控えは未だ続いている。



二ノ文 伸元 議員



Q コロナ禍における旅館・飲食業など観光業界が危機的状況にあり、旅館・飲食業が混在する菊池温泉街もダメージが予想されるが、現在の温泉街の状況への対応と支援策を示せ。

A 新型コロナウイルス感染症の長期化により、国の地方創生臨時交付金等を活用し、プレミアム付き商品券事業や、宿泊施設助成事業等の対策を行ってきた。今後は、宿泊・観光事業者、市民等が

一緒になって、観光によるまちづくりを考えるワークショップ等を開催し、菊池温泉街の魅力創出に取り組みたい。

四季の里旭志について

Q 四季の里旭志の民間移譲への土地施設譲渡の理由とスケジュール、住民への対応を示せ。

A 菊池市公共施設等総合管理計画に基づき、民間移譲を進めている。

今後は、新年度の旭志地区区長会での説明を行う準備を進めており、併せて公募要項や仕様書等の作成を行っている。区長会等で出されたご意見を考慮し、公募の方針等に盛り込み、準備が整いましたら公募を開始したい。

Q 竜門ダム未利用水のTSMC半導体企業への活用は。

A 県からは、まだ調査している段階であると聞いている。



木下 雄二 議員



未利用水の活用が見込まれる竜門ダム

Q 竜門ダムの未利用水をTSMC、ソニー等半導体関係企業への活用の検討に入ったとのことだが、地元龍門地域の活性化策の県との連携は。

A 県からは、まだ調査している段階であると聞いている。

市営住宅の指定管理について

Q 市営住宅入居者のサービス向上と経費削減を目的に管理を民間に委託したが、トラブルが発生している。今後の指定管理者の監視体制は。

A 市営住宅管理センターに、できる限り即日対応すべき事案と指導した。

その他の質問

- ・ 移動販売の拡充について
- ・ 九州産廃菊池事業所廃止後の水迫地区への対応について
- ・ 菊池市公共施設等総合管理計画について
- ・ 国道387号沿いの太陽光発電事業について

道路整備について

Q 国道387号の歩道整備、千豊河原への古川伊倉線、植木インターへの立石野間口線、幅員が狭い北宮1号線は。

A 国道387号の豊間地区道路改良事業は、県から曲線部の是正及び歩道設置を含め約900mを改良すると聞いている。古川伊倉線は、橋りょうの上部工及び道路改良工事を行い早期完了を目指したい。立石野間口線は、残り約420mを計画に基づき進めたい。北宮1号線は、狭小区間の早期完了を目指したい。

定例会・臨時会
決議・意見書
委員会・分科会
一般質問
意見交換会

議会と各種団体との意見交換会

菊池市議会では、市民の皆様が開かれた議会を目指し、議会報告会を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度からは開催できていない状況であることから、今年度は規模を集約し、各種団体との意見交換会として開催しました。

概要 意見交換会は、各常任委員会で、意見をいただく団体やテーマを絞り、専門的に集中した意見交換会となるよう、工夫して行いました。

※各種団体の名称は略称で記載します。

(総務文教) 区長協議会

(福祉厚生) 歯科医師会、薬剤師会、学童さ

くら会、保育協議会

(経済建設) 有害鳥獣捕獲協議会、JA菊池、

農業共済組合、森林組合、商工会、企業連、建設業協会

※内容は、紙面の都合上、抜粋して記載します。

安心安全なまちづくりについて

【道路について】

- 通学路の横断歩道や白線、色付き舗装を要望しているが、予算の関係でできていない。歩道外の草が歩道に入り、通学路が不適格な状態になっている。
- 県道と市道が重なる路線が南住吉区にあり、途中で舗装が分断されているが、TSMC関係でダンプや大型トラクターが増え、振動が発生している。県道と市道なのでどこに相談して良いのかわからない。

【防犯灯について】

- 防犯灯のLED化は、引き続き2分の1補助の予算の継続をしてほしい。
- 主要な通学路の防犯灯の電気代は、市で負担してもらいたい。高齢化で区費を上げることでも難しくなっている。
- 区によっては、防犯灯をLEDに変えたくても変えるお金がない。さらに、電気代が高騰し、区の会計を非常に圧迫している。

これらの意見に対し、委員会より、防犯灯LED化の補助は、前回の議会において市長は継続す



るとの答弁であった。防犯灯のLED化は、予算が無いで済ませず、委員会としても協議していく必要があると回答しました。

また、その他に、防災無線の戸別受信機について、七城地域の地下水汚染対策についての意見がありました。

歯周疾患検診・口腔衛生について

- 昨年複合健診に含まれ実施したが、受診率の低さが課題と考える。費用(個人負担500円~1000円)がかかるのがネックではないか。
- 多くの児童で虫歯は少ないが、一人で何本も虫歯がある児童が見受けられる。子どもの口腔状態と家庭環境は密接なつながりがあり、ネグレクトの可能性も考えられる。
- 学校の健診で虫歯があることがわかり、治療をするよう学校から連絡があっているが、対象の児童生徒がきちんと治療に行っているか、学校でのサポートがどうなっているかが不明である。

薬剤師会関係

- コロナ禍による薬不足は、コロナ以外の薬の流通にも影響が出ており、実際に風邪薬が不足し、代用品でしのいでいる。患者さ

んとのコミュニケーションを通して、代替品の提案等を行っている。

● ジェネリック医薬品を使いたいが、薬不足でうまくいっていない。

保育士不足等について

● 保育士不足は、国の最低基準では実情無理と考えているが、園児の増加に伴った保育士の確保が難しい。

● 特性のある子どもを保育していく上で、加配しても人手不足の要因のひとつである。



● 保育士は虐待の可能性など家庭内での問題に気付くことがあるが、そこから先につながっていかない。そのためにも、家庭支援員（相談員）の活動や人員（現在2名）をもっと拡充してほしい。

放課後児童育成クラブについて

● 子どもたちの数の増減により、これから10年程度の運営が難しい。

● 運営背景が違っているので、菊池学童さくら会としての料金統一は難しい。このまま保護者会運営を希望するクラブもある。

半導体関連企業誘致に伴う経済対策

● 出遅れ感があり、近隣の自治体と比べて乗り遅れていないか心配している。

● 旭志と泗水に思い切った住宅誘致を行い、道路の整備、上下水道工事等のインフラ整備を行うなど大胆に動いてもらいたい。

● 雇用問題が一番大きい。工場でも、非常に人手が不足している。

● 観光やインバウンドをどうするか、これに期に菊池温泉をより活性化させなければならぬ。

● 農業委員会がある程度、規制を緩和してほしい。

こうした意見を踏まえた議員間討議では、農業後継者がいないので土地を売りたい方と、まだ続けたい方がいるので、農地銀行（バンク）のような形で、売りたい方が農地を出し、農業を続けたい方に優良農地を代替地として渡す等したほうが良い。

また、雇用問題がとても心配で不安が残る。どの業界も人手・人材不足が叫ばれている中、本当に働き手の確保ができるのか、対策の必要性を感じたといった意見が出ました。

有害鳥獣対策について

● イノシシの被害が目立ってきているが、シカや鳥の被害も増えている。

● イネとフリの幼木の被害が特に酷い。

● 個体数が増え、捕獲数も増えているにも関わらず、市の報奨金が少なかった。

● 補助金が無いとわなを準備する費用も大変である。戦争のせいで鉄砲の弾の値段も高騰し、入手しづらくなった。

● わなの資格や免許を取る際の費用について、補助金を増額してほしい。

こうした意見を踏まえた議員間討議では、イノシシを埋めると言われ、処分に関する道筋がないと大変だ。

ジビエ施設を近隣自治体と一緒に、まずどこかに一つ作るのがよい。

西米良村の事例を調査・研究する必要がある。

また、一自治体でなく広域的に、国・県には、意見書等いろんな方法で伝えていく必要があるといった意見が出ました。



まとめ いただいたご意見を糧にして、各委員会はもとより、各議員が今後の議会・議員活動につなげてまいります。

このたび、ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

令和5年 第2回菊池市議会定例会日程の予定

月日	区分	日 程
6月23日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(6月24日～27日 休会)		
6月28日	本会議	質疑・委員会付託
6月28日	委員会	予算決算常任委員会
6月29日～ 6月30日	本会議	一般質問
(7月1日～2日 休会)		
7月3日 7月4日	本会議	一般質問
7月5日 7月6日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(7月7日～10日 休会)		
7月11日	委員会	予算決算常任委員会
(7月12日～13日 休会)		
7月14日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議会傍聴をお待ちしています！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しくください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場に制限がある場合があります。



6月定例会は6月23日(金)に開会する予定です。

編集後記

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が収束に向かっていた3月定例会では、3年ぶりにマスクを外した一般質問や、施政方針が新年度予算に反映されているか等、さまざまな審議を行いました。

また、コロナ禍で休止となっていた議会報告会の代わりに行った各種団体との意見交換会の報告や、牛乳の消費拡大に関する決議、食料安全保障に関して国へ意見書を提出する等、活発な議論を行いました。

新年度となった5月、私たち議会広報特別委員会は、4年ぶりに先進地研修を行い、「市民の皆様親しんでいただける広報紙づくり」に向けて気持ちを新たにしました。

これからは「議会だより」に皆様の声を反映してまいりたいと考えていますので、ご意見を聴かせてください。

議会広報特別委員 古田 浩敏

■議会広報特別委員会■

委員長 / 泉田 栄一郎 副委員長 / 大山 宝治
委員 / 本藤 潔 安武 睦夫 古田 浩敏 島 春代